

競技職種実施要領

フラワー装飾職種

Ver.2 2026年 6月30日



本競技職種実施要領は、以下の内容で構成される。

1	はじめに	3
1.1	競技職種の名称	3
1.2	競技職種に関連する職務または職業の説明	3
2	技能五輪全国大会職業標準	4
2.1	技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）	4
2.2	技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)）	4
3	採点方法、採点基準とその配点、公開方法	11
3.1	採点対象	11
3.2	採点基準	11
3.3	公開方法	12
4	競技課題の概要	12
4.1	競技課題の構成	12
4.2	競技課題作成上の要求事項	12
4.3	競技課題の公表	13
4.4	競技課題の変更	13
5	職種限定規則	14
6	実施要領	14
7	競技スケジュール	15
8	支給材料	16
8.1	支給花材【課題2・4用】一覧(1人分)	16
8.2	支給資材【課題2・4用】一覧(1人分)	17
9	選手持参工具・材料	18
9.1	工具類(1人分)	18
9.2	資材類(1人分)	19
9.3	その他(1人分)	19
10	競技会場設備基準	20
10.1	競技会場設備基準	20
10.2	作業場所	20

1 はじめに

1.1 競技職種の名称

フラワー装飾

1.2 競技職種に関連する職務または職業の説明

フラワー装飾は、生花を中心としたアレンジメントや花束の制作、冠婚葬祭やウィンドウディスプレイ装飾をデザイン制作するための技能です。競技では支給された花材と資材を使い、花束、ブライダルブーケ、アレンジメント等を制作します。

花束やブライダルブーケ、フラワーアレンジメントは、母の日や父の日、誕生日などのイベントごとを華やかに演出してくれます。結婚式やパーティー、あるいは葬儀場などの装飾には花がつきもの。シーンに合わせた装飾を検討し、イメージにぴったりの作品を作る技術が求められます。フラワーショップでの生花の販売員として従事する場合は、花束やフラワーアレンジメントを求められる場面が多く、確かな技能を生かして、お花の専門家として第一線で活躍することができます。

2 技能五輪全国大会職業標準

2.1 技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）

項目		配点率 (%)
1	作業組織と管理	13
2	材料および道具への注意	10
3	ビジネスとコミュニケーション	8
4	フラワー装飾のコンセプト	30
5	フラワー装飾に必要な作業	5
6	花による室内の装飾	7
7	植物を用いたフラワー装飾	7
8	ブライダルのフラワー装飾	10
9	特別な花の依頼	10

2.2 技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)）

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
1	作業組織と管理	13
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - 花に関わる産業の範囲や特徴、および他の職業との関わり方 - フラワー装飾のデザインの原則や要素 - 安全衛生に関する法律、規則、文書および実践 - 作業の構成および優先順位の重要性 - 時間管理の重要性 - 無駄と経費を管理しながら利益を最大化できる仕事の仕方の手法 - 材料のリサイクルおよび/または再利用を含む、花に関わる産業の持続可能な慣行	
	各自は以下を実施できること： - 創造的で、芸術的で、革新的で、臨機応変である - イニシアチブを発揮する - 変化する状況に、敏感かつ柔軟である - 実践的、技術的および理論的な専門知識を適用する	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
	- 最近の傾向、新しい考え方やスタイル、材料に敏感であるよう専門家として継続的に進歩を重ねる - 新しい方法を試し、変化を受け入れる意欲を示す - 利用可能な資源を最大限に活用するために、作業を効果的に計画および構成する - 様々な規模のプロジェクトや複雑なプロジェクトを計画する - 安全衛生および環境に関する規制および慣行の範囲内で実践する - 時間的制約のもとで作業を進め、最終期限と目標を達成する - 自主性と高い自律性を発揮し、効果的に作業する	
2	材料および道具への注意	10
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - 花と植物材料の特徴 - あらゆる園芸材料の正しい用語体系 - 正しい温度を含む材料の保管要件 - 課題に関する材料の最適な適用、および正しい取り扱い手順 - 切り花や植物の手入れと取り扱い - 季節による植物や植物材料の入手可能性 - 輸送コストと責任ある栽培者に関連した植物材料の倫理的な調達 - 収穫後の材料管理 - 花の装飾に使用する道具と器具 - 使用する道具に関する適切な技術	
	各自は以下を実施できること： - 供給コストと栽培者の慣行に関連して植物材料の起源を特定する - すべての植物材料を適切な収穫後管理法を用いて扱う - デザイン用に植物材料を適切な状態にして準備する - 植物材料の状態を保つ - 植物材料を適正な温度に保つ - デザインに使用される容器、雑貨品その他の材料を含む、作品に関連するすべての材料を適切に管理する - 作品に関連する道具や器具を選択して使用する	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
3	ビジネスとコミュニケーション	8
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - 指示の解釈を通して顧客の信頼を確立し維持することの重要性 - 同僚および他の専門家との生産的な業務関係を構築し維持することの重要性 - 依頼の解釈を通して顧客に共感を示すことの重要性	
	各自は以下を実施できること： - 必要に応じて植物材料、家具、スタンド、花瓶、容器やアクセサリを活用し、フラワーショップのデザインをする - 文化的嗜好と倫理的な側面に配慮した材料を選択して使用する - フラワー装飾の作品との関連で適切な材料を選択して使用する - 作品との関連で環境要件を解釈して適用する - 依頼者の個性や特徴をフラワー装飾の作品に反映させる。 - 実践的なデモンストレーションを行う - タイムスケジュールを確実に順守する - フラワー装飾の作品は、安全で確実に輸送できるように整える	
4	フラワー装飾のコンセプト	30
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - 構成、色、デザイン、技法などのフラワー装飾の原則と要素 - テーマの背後にある理論的根拠 - フラワー装飾における最近の傾向と流行 - フラワー装飾とその実現における倫理的かつ持続可能な実践の重要性 - フラワー装飾の重要性およびそれらが物理的環境とどのように関連しているか - 結婚式や他のイベントなど、フラワー装飾に関する文化の違い	
	各自は以下を実施できること： - 依頼事項を解釈する - 花を用いた作品にフラワー装飾の要素と原則を適用する - 装飾の中で確実に植物材料を際立たせること	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
	- 計画されたフラワー装飾に必要な植物材料、容器、技術的な補助器具/材料、装飾アクセサリーを選択する - 特定のテーマに合ったフラワー装飾を創作する - 特定の場面に適したフラワー装飾を創作する - 持続可能な実践の必要性を考慮したフラワー装飾を創作する - 配置される場所と環境にふさわしいフラワー装飾を創作する - 伝統的および/または革新的なフラワー装飾を創作する - フラワー装飾を通じて感情を伝える - 優位性、コントラストおよび色の組み合わせを使用し、デザインの調和を生み出す - 色の作成や色の配置、色合い、色調、陰影など、色彩理論を効果的に用いる	
5	フラワー装飾に必要な作業	5
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - フラワー装飾における植物材料の扱いと使用方法 - フラワー装飾における植物材料の準備方法 - 作業エリアを清潔に整理整頓することの重要性 - 順序立って効率的に作業する方法	
	各自は以下を実施できること： - 清潔性に留意し秩序立って働く - 状況に従い効率的に作業の優先順位をつける - テーマと作品との関連でフラワー装飾を創作し仕上げる - さまざまな環境での販売用にフラワー装飾を創作し、植物材料を展示する - 個人のフラワー装飾作品を創作する - テーマに従い、これを解釈したフラワー装飾を創作する - 対象物の中や上に花飾りを作成する適切な技法を選択して実装する	
6	花による室内の装飾	7
	各自は、以下を知り理解する必要がある：	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
	- 室内の装飾の意味（ハンギング、スタンディング、室内仕切板、スクリーン、壁のデザインなど） - 所望の効果との関連でフラワー装飾はどのような影響を与えることができるか - 熱や換気、照明がどのようにフラワー装飾に影響を与えるか	
	各自は以下を実施できること： - 適切な技法および/または技法の組み合わせを用いて室内の装飾を創作する - お祭りや会社の行事などのイベントにふさわしい大規模で複雑なデザインを創作する - ハンギング、スクリーン、壁のデザインなど、室内への設置に必要な技法を適用する - テーマに従い、これを解釈したフラワー装飾を創作する	
7	植物を用いたフラワー装飾	7
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - インテリア、エクステリアのデザインに使用可能な植物の種類 - 植物： - 正しい用語体系 - 保管要件 - 正しい取り扱い - デザインとの関連で適切な適用 - 長く持たせるための維持 - 手入れ - 季節による入手可能性 - さまざまな環境への反応 - 植物をフラワー装飾にどう活用できるか - 鉢植えの植物に使用されるさまざまな媒体の使用法 - 植物の保持やディスプレイに使用される容器の種類 - 植物を扱う際の安全衛生への配慮	
	各自は以下を実施できること：	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
	- さまざまな場面やイベント、テーマに適した植物を使用してデザインを創作する - 使用の前、使用中に、植物をできるだけ長持ちさせるケアを施す - 植物装飾作業時に、適切に安全衛生に配慮する - 植物の展示および維持管理に適切な容器を使用する - 目下の課題との関連で適切な媒体を容器内の植物に使用する	
8	ブライダルのフラワー装飾	10
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - 結婚式の種類、多様性 - 結婚式の祝賀に対する文化的および宗教的な影響 - 結婚式の候補地 - 結婚式と関連したテーマ - フラワー装飾に対する指示の影響	
	各自は以下を実施できること： - それぞれの結婚式のスタイル、規模および特徴に合ったフラワー装飾を創作し準備する - 結婚式に適した大規模で複雑なデザインを含む、あらゆる種類の結婚式用フラワー装飾を創作し準備する - 花嫁の個性、ドレス、外観を引き立てるフラワー装飾を創作する	
9	特別な花の依頼	10
	各自は、以下を知り理解する必要がある： - 特別な依頼の種類と範囲 - 原価計算と価格設定の原則と適用	
	各自は以下を実施できること： - 指示事項を解釈して、テーマ、デザインおよび要件を確定する - 指示に沿ったフラワー装飾の作成 - フラワー装飾依頼の展示を創作し監督する - 依頼内容に比べて高い基準を満たす仕上りとなるよう作業工程の品質を保証する	

項目とその内容		相対重要性 配点率(%)
	- 目下の課題との関連で要望事項を管理する - 注目を集める特別なプロジェクトに伴うプレッシャーの下で効果的かつ効率的に業務を遂行する - 原価計算と価格設定のパラメータ内でプロジェクトを完了する - 必要な記録を完成させて提供、維持する。	
	合計	100

3 採点方法、採点基準とその配点、公開方法

3.1 採点対象

フラワー装飾は花を含めた植物を扱う職種であり、アレンジメントやブーケ、花束、アクセサリー、リース、プランツデザインなど、それぞれに必要な技能（スキル）が求められる。

必要な技能（スキル）とは

- 基礎技術(一般的)
 - テクニック(専門的)
 - アイデア(独創性、創造性)
 - 色彩(割合、表現力)
 - 構成力(バランス、材料の選択、材料からの影響力)
 - 作業の計画(清潔さ、花材の取扱い)
 - 完成度(テーマ性・総合的スキル・総合的難易度)
- これらの観点のもと、採点基準に従い、加点方式により採点を行う

3.2 採点基準

- 各課題は、以下に従い加点方式により採点する

(採点配分は、いずれも減点がない場合、課題毎に合計100点とする)

	大項目	採点配分	小項目	採点配分
1	アイデア	10 点	デザインの選択	5 点
			創造性・独創性	5 点
2	色彩	5 点	色彩の調和	5 点
3	構成	10 点	視覚的バランス	10 点
4	技術	25 点	基礎的スキル	10 点
			専門的スキル	15 点
5	完成度	20 点	難易度	10 点
			テーマ性・完成度	10 点
6	仕様	30 点	仕様誤り サイズ誤り 花の状態 作業態度…等	30 点

●採点対象外事項

次の事項に該当する場合は、採点対象外となります

- ① 未完成
- ② 著しい誤作

●失格事項

次の事項に該当する場合は、失格事項となります

- ① 注意事項に違反した場合
- ② 競技の運営に支障を及ぼす危険な行為
- ③ 競技委員の指示に従わない場合
- ④ その他、競技委員全員が失格と判断した場合

3.3 公開方法

主催者が指定する方法において、参加選手本人による照会の場合のみ、原則として競技結果（順位、得点）を伝達する

4 競技課題の概要

4.1 競技課題の構成

競技時間合計 6時間（2日間）

競技 1 日目

- 課題1、サプライズ競技①（70分）
- 課題2、フラワーアクセサリー（90分）
- 課題3、サプライズ競技②（80分）

競技 2 日目

- 課題4、ブライダルブーケ（120分）

4.2 競技課題作成上の要求事項

競技課題は4課題です。1日目は①当日発表される課題の「サプライズ競技①」の制作、②トルソーを使用する『フラワーアクセサリー』の制作に加え、③当日発表される課題の「サプライズ競技②」の制作、2日目は④自由な発想の『ブライダルブーケ』があります。テーマに沿って自分の世界観を表現する作品を制作。インスピレーションによる対応力が

必要です。また基礎技術やテクニックに加え、アイデアや独創性、色彩や表現力が問われます。

優れたデザイン性や独創性、そして色彩感覚をカタチにする技能が必要とされるのはもちろん、花を含めた植物を扱うため、植物等に関する基礎知識も求められます。競技時間は2日間で6時間。美しい花がより魅力的になる過程に注目です。

ポイントは自らのイメージを作品にどれだけ反映させられるかです。そのためには、それぞれの課題で求められるスキルを確実にこなすことに加え、課題への理解と創造性のバランスを取ることが求められます。また、植物それぞれのキャラクターを理解することや、花材を傷めることなく取り扱うための知識も必要です。これらがあって初めて、花の魅力を引きだせることができます。同じ種類の花が、選手によって異なるアレンジへと変化していきます。

4.3 競技課題の公表

事前公表の競技課題は、原則として技能五輪大会開催の3か月前に主催者ウェブサイトで公開する。

ただし、課題1、3のサプライズ競技の競技課題は大会当日公表(競技日当日公表)する。

4.4 競技課題の変更

事前公表競技課題に変更がある場合は、主催者ウェブサイトで公表する。

その他、花材、資材は市場の入荷状況により変更がある場合等は当日の集合時に告知する

5 職種限定規則

- ① 各課題の制作は、それぞれの仕様・注意事項に沿って制作する
- ② 花材、資材は市場の入荷状況により変更がある場合は当日の集合時に告知する
- ③ 指示に従い支給された花材・資材を各自で確認・管理する(課題2・4用)
- ④ 支給花材(課題2・4)の使用率は自由とする(但し、サプライズ競技は指示に従う)
- ⑤ 支給資材(課題2・4)の使用率は自由とする(但し、サプライズ競技は指示に従う)
- ⑥ 作品への給水は、指示に従い各自が行うこと
- ⑦ スプレーなど刺激臭を伴うものは持込禁止とする
- ⑧ サプライズ競技課題は当日の指示に従い制作すること

6 実施要領

- ① 指示に従い持参工具・資材の点検を必ず受けること
- ② 支給品に異常がある場合は確認時間内に交換を申し出ること
- ③ 開始後は、花材・資材の再支給は行わない
- ④ 持参工具及び支給花材、支給資材の貸し借り、及び譲渡を禁ずる
- ⑤ 電気工具の使用は安全に配慮し充分注意する
- ⑥ 電気工具は設備されているコンセントから、持参した延長コードにより使用すること
- ⑦ 競技前・競技後は、合図があるまで作品には絶対手を触れないこと
- ⑧ 作業スペース内は常に整理整頓し、ラインから花材・資材を出さないこと
- ⑨ 作業は、作業スペース内(作業台周囲からの作業は可)で行いラインから出ないこと
- ⑩ 競技中の私語は禁止すること
- ⑪ 競技中、メモの持込や写真及び携帯電話(スマホ)などを参照してはならない
- ⑫ 競技中、携帯電話(スマホ)はマナーモードにして腕時計とともに必ずバッグなどに入れておくこと
- ⑬ 競技終了の合図があったら、作業は一切中止すること
- ⑭ 競技終了合図後、作品に手を触れてはいけない(作品展示台への移動は除く)
- ⑮ 競技中の怪我・体調不良の場合は、競技委員または補佐員に申し出ること
(但し、手当ては時間内とし必要に応じて個別で延長を考慮することがある)
- ⑯ 服装は、フラワー装飾作業に適したものであること
- ⑰ 全ての課題制作に関する質問は受け付けない

7 競技スケジュール

競技1日目 2026年12月5日(土)

8:00 役員集合
09:30~10:00 選手受付
10:00~11:00 持参工具その他検査
支給花材・資材確認
完成作品展示場所配置説明
11:00~11:15 課題1サプライズ競技説明(15分)
11:15~12:25 課題1サプライズ競技①の制作(70分)
12:25~13:15 作品の移動・昼食休憩(50分)
13:15~13:30 課題2競技説明(15分)
13:30~15:00 課題2 フラワーアクセサリーの制作(90分).
15:00~15:15 作品の移動・休憩(15分)
15:15~15:30 課題3サプライズ競技説明(15分)
15:30~16:50 課題3サプライズ競技②の制作(80分)
16:50~17:05 作品の移動(15分)
17:05~17:35 作業スペースの清掃(30分)
17:35 競技一日目終了

競技2日目 2026年12月6日(日)

8:00 役員集合
9:30~10:00 選手集合
10:00~10:30 自参工具その他検査(30分)
10:30~11:00 課題4競技説明(30分)
11:00~13:00 課題4ブライダルブーケの制作(120分)
13:00~13:30 作業スペースの清掃(30分)
13:30~15:00 昼食休憩(90分)
審査(審査中入場禁止)
15:00~15:45 作品展示(45分)
15:45~16:15 作品撤去及び片付け
16:30 競技二日目終了

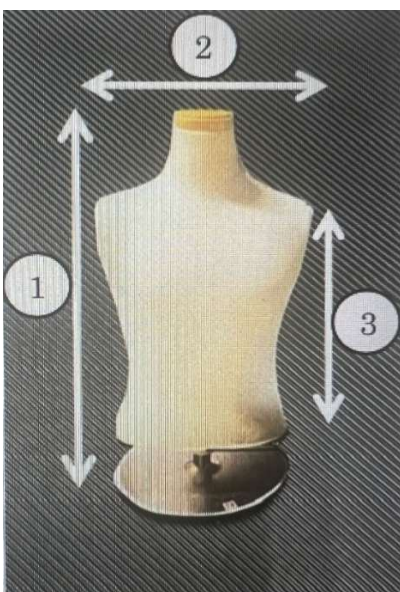
8 支給材料

8.1 支給花材【課題2・4用】一覧(1人分)

品 名	品 種	寸 法	色	本 数
スプレーバラ		40 cm位	淡ピンク	5 本
スプレーバラ		40 cm位	クリーム	5 本
デンファレ		40 cm位	淡ピンク	5 本
デンファレ		40 cm位	白	5 本
ミニ胡蝶蘭		30 cm位	白	3 本
ワックスフラワー		40 cm位	白	5 本
ホワイスター		40 cm位	白	5 本
センニチコウ		30 cm位	白	5 本
スプレーマム	フェリーポン	50 cm位	白	3 本
スプレーカーネーション		50 cm位	白	5 本
アジサイ		40 cm位	グリーン	1 本
リュウカデンドロン		60 cm位	グリーン	3 本
ヒペリカム		50 cm位	白	5 本
ヒペリカム		50 cm位	グリーン	5 本
ゴット		50 cm位	グリーン	3 本
リリオペ		40 cm位	グリーン	20 本
丸葉ルスカス		40 cm位	グリーン	3 本
ドラセナ		50 cm位	グリーン	2 本
グリーンネックレス		50 cm位	グリーン	2 本

8.2 支給資材【課題2・4用】一覧(1人分)

品 名	番 号	個 数	色	備 考
アルミワイヤ	太さ 2 mm	1 巻(5m)	シャンパン	
	太さ 2 mm	1 巻(5m)	ピンク	
	太さ 2 mm	1 巻(5m)	シルバー	
糸針金	AW2847-19 #28	1 巻(46m)	シルバー	
リボン	900 サテン RT21100-106	6 mm×3m	シャンパン	
	900 サテン RT21000-106	3 mm×3m	シャンパン	
トルソー(写真参照)	60 cm×33 cm	1 台	生成り	レンタル品
パール 3 mm	AB 403	1/2 袋(約 250 粒)	白	
パール 6 mm	AB 4006	1/2 袋(約 125 粒)	白	
パール 8 mm	AB 4008	1/2 袋(約 90 粒)	白	
A4 紙	デッサン画	1 枚		課題 4 用



※トルソーは写真(実際と異なる場合もある)のようなレンタル品とします

サイズは①高さ 56 cm(スタンド含)×②幅 33 cm③肩～ボディ下迄 35 cm

9 選手持参工具・材料

9.1 工具類(1人分)

(持参工具類の中で、各自が使用しない工具類は持参しなくてもよい)

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
グルーガン	高温又は低温	1	
グルースティック(クリア)		必要数	
電動ドリル	充電式又は電源式	1	
目の保護ゴーグル	電気ドリル使用時	1	
ドリルビット(替刃)		必要数	
延長コード	2m程度	1	
花用ナイフ		必要数	
カッターナイフ		1	
カッティング用マット	サイズ自由 (角度表示無)	1	
ハサミ		必要数	
ペンチ・ニッパー		必要数	
バラのとげ取り		1	
ホッチキスとホッチキス針		必要数	
メジャー・ものさし		1～2	
コンパス		1	
ノコギリ		1	
ピンセット		1	
水差し		1	空を持参
霧吹き		1	空を持参
クリップ	洗濯ハサミ可	10 個以内	※1 作業補助用

※1 作業補助用のクリップは、作品に使用しないこと

9.2 資材類(1人分)

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
ブーケスタンド	自由	1	※2
フローラルテープ	色自由	必要数	
裸ワイヤ (直線のもの、カット不可)	長さ(45～72 cm) 太さ(#14～30)	必要数	
フローラル用接着剤		必要数	
両面テープ	幅・長さ自由	必要数	
防水テープ(吸水フォーム用)		必要数	
コットン類(ペーパー含む)		必要数	保水用

※2 ブーケスタンドは、審査に影響しないため華美にならないこと
(完成品のブーケを設置する為の、必要なサイズとする)

9.3 その他(1人分)

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
養生シート(作業台下)		1	養生用
養生セロハン(作業台上)		1	養生用
養生テープ(クラフト不可)		必要数	養生用
筆記用具(課題4デッサン画必須)	黒鉛筆・消しゴム	必要数	
花バケツ(小)		必要数	
ほうき・ちりとり・ゴミ袋		必要数	清掃用
タオル・雑巾		必要数	清掃用
作業用手袋		必要数	
踏台		1	※3

※3 踏台は、作業の高さを調整するための台で必要な場合は持参してもよい

10 競技会場設備基準

10.1 競技会場設備基準

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
作業台	長さ 180cm×幅 90cm×高さ 70cm	1 台	
椅子	折りたたみ式パイプ製	1 脚	
コンセント	コンセント(100V 用)	1 個	
バケツ	花材入れ用	適当数	
展示スペース	長さ 180 cm×奥行 45cm (高さ 70cm)	1 台	
作業スペース	2.4m×2.8m	1 コマ	
テーブルクロス	白色ビニール製	作業、作品展示台共	

10.2 作業場所

